

裁判員はプロの言いなり!?



裁判官(中央の3人)と裁判員(左右の計6人)の多数決では、「X」(無罪)が過半数を占めたのだが…
東京都新宿区の四谷区民ホールで

2年後の司法の姿…反対派の憂い

裁判員制度に反対するグループ「裁判員制度はいらない」大運動が六月二十九日に都内で集会を開き、「美しい国の裁判員時代」と題した劇を披露した。脚本は西村正治弁護士、演出は劇団「東京芸術座」の印南貞人氏で、同劇団の俳優と弁護士が出演した。反対派が恐れる二年後の司法の姿はこうだ。

「二〇〇九年五月十一日、て、やってって言っちゃっ新宿の上で会社員広末あ たんです」

きくさんのバラバラ劇体が 十月二十七日の裁判。ひるしかありません。私たち

発見された。警察は六月二 かる被告は無罪を主張。ア

場面は進んだ。

「いろいろな意見はあるよ うですが、ここで決を探ら った」と有罪を宣言。議論 せてもらいます。裁判長 は量刑に移った。

「無罪」を主張。すると、 裁判長は「説明した。 「無罪が過半数です。で すが、無罪の中に裁判官が いません。こういう場合に は、裁判員法六七条によっ て無罪と決めちゃいけない ことになっていきます。結 論が出るまで評議を続け るしかありません。私たち は何時までかかってもかま ますよ」。裁判長は「変え てくれますか。そりゃよか えがかわるまで評議を続け ることになりました」と促 します。

「無罪」を主張。すると、 裁判長は「有罪と決ま った以上は有罪を前提に考 えてください」と避けた。 します。それでいいです。 よ、それで」。ひかる被告 は懲役十二年の判決を言い 渡され、控訴を断念。判決 が確定した。

評議明かせば 逮捕の可能性

約八カ月後、テレビの報 道番組。キャスターがひか

る被告のアリバイを証明す る人物が現れたことを説 明。「被告は無実であった 可能性が高い」と、無罪を

全裁判官「有罪」だと無罪評決できない盲点 早く終わりたい…ぼくは有罪に変わります

十九日、犯行を自白した妻 リバイの証人が見つかるま いませんが、どうします 後、ひかる容疑者は逮捕。三日 で裁判を延期するよう求め

た国選弁護士にこう訴え った。検察官は懲役十五年 年を求刑した。弁護士は、

「あきらさんを殺してな んかいません。十日間もほ んど毎日、朝から夜中ま で調べられて、もう何が何 だか分からなくなっちゃっ を決める密室の「評議」に ねならぼく、有罪に変わら います。あなたが結論をは 男性は連行された…」

「あきらさんを殺してな んかいません。十日間もほ んど毎日、朝から夜中ま で調べられて、もう何が何 だか分からなくなっちゃっ を決める密室の「評議」に ねならぼく、有罪に変わら います。あなたが結論をは 男性は連行された…」